

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載(p. 40)の指定された会場で、「練習会場使用日程表」に従い実施すること。
- (2) 主競技場内での練習は、競技役員の指示で、その他の会場については、練習会場係の指示に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

3 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴のスパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

4 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド第1ゲート付近の外側（ID規制エリア内ゴール外側）に設ける。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。種目別招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

		予選									
		100m 200m 100mH 110mH			400m 800m 400mH			1500m			
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
ト ラ ッ ク		1, 2, 3	30分前	20分前	1, 2, 3	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
		4, 5, 6	15分前	5分前	4, 5, 6	15分前	5分前	2	20分前	10分前	
		7, 8	0分前	10分過	7, 8	0分前	10分過	3	10分前	0分前	
									4	0分前	10分過
		3000m 5000m			3000mSC			5000mW			
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
		1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
		2	15分前	5分前	2	15分前	5分前	2	15分過	25分過	
		3	0分前	10分過	3	0分前	10分過				
					4	15分過	25分過				
		4×100mR			4×400mR						
		1, 2, 3	35分前	20分前	1, 2	35分前	20分前				
		4, 5, 6	20分前	5分前	3, 4	15分前	0分前				
		7, 8	5分前	10分過	5, 6	5分過	20分過				
					7, 8	25分過	40分過				
		準決勝									決勝
		組	招集開始		招集完了		招集開始		招集完了		
		1, 2	30分前		20分前		30分前		20分前		
		3	20分前		10分前						

混成競技	トラック			フィールド	
	組	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
	1, 2, 3	30分前	20分前	60分前	50分前
4, 5	20分前	10分前			

種目	予選		決勝	
	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
走 高 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
男子棒高跳	135分前	120分前	90分前	80分前
女子棒高跳	110分前	95分前	90分前	80分前
走 幅 跳	70分前	55分前	50分前	40分前
男子三段跳	70分前	55分前	50分前	40分前
女子三段跳	60分前	45分前	50分前	40分前
砲 丸 投	60分前	45分前	45分前	35分前
円 盤 投	65分前	50分前	45分前	35分前
男子ハンマー投	75分前	60分前	50分前	40分前
女子ハンマー投			75分前	55分前
や り 投	70分前	55分前	50分前	40分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

(4) 招集の手順

- (ア) 競技者は、前記(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。
- (イ) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類を競技区域内で所持または使用することを禁止する。あらかじめ学校関係者に預けておくこと。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。(第144条3.(b))
- (ウ) 助力とはみなされず、許可されるものとして、以下のものが追加される。(第144条4.(c.f))
- ・冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸補助具。
 - ・指定された場所で、あるいは審判長が認めた場合に渡す帽子、手袋、靴や衣類。
- (エ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- (オ) 代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「2種目同時出場届」を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前当該競技役員にその旨を申し出ること。(第142条3確認のため)
- (カ) リレー種目について
- ① オーダー用紙は各ラウンドにあらかじめT I Cに取りに行くこと。
 - ② T I Cで受け取ったオーダー用紙に必要事項を記入し、各ラウンドとも当該組の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
 - ③ * 一度申告したら、その後の変更は招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
* 招集完了時間前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し換え)は認められない。
* 医師の判断による変更は出場選手のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。(第170条11)
- (キ) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を招集所に提出すること。
- (ク) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控室で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

5 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (3) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を9レーンで実施する。準決勝・決勝は2レーンより使用する。
- (4) スタートのピストル音については、電子音で行う。
- (5) 「On your marks」あるいは「Set」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したとき、審判長が警告を与える場合がある。2度の規則違反があった場合失格となる。
(第162条5 (b・c))
- (6) リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。
- (7) 4×100mRの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー（1個）を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。
※テイク・オーバー・ゾーンは30mとする。（第170条3）
- (8) すべてのバトンパスにおいて、テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならない。
- (9) 3000m、5000m、5000mWの予選は、グループスタートで実施する。
- (10) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。
- (12) フィールドの試技時間は棒高跳を除き、適用する時間は30秒とする。（4名以上の場合）
(第180条17)
- (13) 棒高跳の競技者は、「アップライト申告書」をTICで受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、招集所に提出すること。公式練習は、バーかけ練習（ゴムバー）2回とする。
- (14) 三段跳の踏切板は、砂場から、男子は予選・決勝とも13m、女子は予選・決勝とも10mの地点に設置する。
- (15) 混成競技において、どの順位についても2人以上の競技者が同得点の場合は同成績とする。
(第200条12)
- (16) 走高跳、棒高跳以外のフィールド種目で、同順位の場合、順位決定の追加試技は行わない。
- (17) 競技規則第144条により、競技者に対する助力については、競技場内での助力は禁止とするが、助言については、競技運営及び他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。ただし、録画されたそれ以前の試技の映像を見せるのは競技者が視聴可能な「コーチ席」/あるいは（メインスタンドの前2列の座席、サイドスタンドの最前列のコンクリート部分、バックスタンドの最前列）とする。また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該競技エリアから離脱する行為、文書をもって連絡することは認めない。
*助力とはみなされず許可するものに以下の項目が追加される。
・指定された場所（コーチ席）で、あるいは審判長が認めた場合に渡す帽子、手袋、靴や衣類。
(審判員を通して行うこと。)
- (18) フィールド競技の予選については、競技進行上、手拍子等を求めることを禁止する。
- (19) フィールド競技の公式練習は2回とする。ただし、女子ハンマー投については、練習場での練習時間を確保し、公式練習は1回とする。
- (20) 提出書類は、下記のとおりとする。なお、TICは競技場正面出入り口付近に設置する。

	書類の種類	提出先	提出時刻
1	欠場届	招集所(競技者係)	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所(競技者係)	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレー・オーダー用紙	招集所(競技者係)	当該組の招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト申告書	招集所(競技者係)	招集開始時刻に
5	投てき用具検査申請書	TIC	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て(口頭)	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
7	上訴申立書(文書)	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
8	記録証交付願	TIC	競技終了後随時
9	プログラム訂正届	TIC	8月1日は16時00分まで 8月2日～8月6日は8時45分まで

※上記の書類はすべてTICで受け取ることにする。

6 抗議と上訴について(競技規則第146条による)

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者はTICを通して抗議担当総務員に申し出ること。
なお、正式発表の時刻とは、大型スクリーン表示時刻とする。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定するが、審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」をTICを通して Jury に提出されなければならない。
なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更された場合は正式発表から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対してその旨が通知されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

7 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配付された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。跳躍競技の競技者は、胸部または背部のみにつけるだけでもよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、左右後方につけること。リレー競技については4×100mは第4走者のみ左右後方に、4×400mは第2と第3走者は右側に第4走者は左右後方につけること。
- (2) 3000m、5000m、5000mWの予選・決勝とも、胸背部に別ナンバーカードを使用するので、出場者は、競技開始1時間前までに招集所へ別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (3) 男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位(現時点)の上位者から順番に、統一した別ナンバーカード(胸部のみ)を使用する(背部はプログラム記載のナンバーカード)。別ナンバーカードは、混成競技者係より配付する。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟広告規程を適用する。
- (2) 飲料水については、協賛社以外のメーカーのものを会社名が明示された状態で持ち込むことはできない。
- (3) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) *トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。
*フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)の決勝試技順については、ルールに則り決定する。
*トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順と、フィールド競技で予選を行った場合の決勝の試技順は、主競技場2階正面付近、招集所入口付近及び補助競技場内に掲示する。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同成績者が出たとき(以下同成績者という)は、下記の方法で決定する。
 - (ア) 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同成績者については、レーンに余裕がある場合に限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。
 - (イ) 1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いものと、1本しかないものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで（混成競技は競技開始の60分前まで）に、TICで「投てき用具検査申請書」とともに提出すること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行の上、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、競技終了後にTICに返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載（p.69）のとおりである。

11 記録表示について（投てき競技）

- (1) ○ 日本高校記録 …… 白地に赤高体連マーク入り標識
- (2) ◎ 大会記録 …… 黄色に赤三角マーク入り標識
- (3) ● 予選通過標準記録 …… 黄色のライン又は黄色の標識

12 予選通過標準記録

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	2m02	4m80	7m20	14m70	15m40	45m00	56m00	62m00
女子	1m66	3m60	5m75	12m00	12m80	40m00	/	45m50

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (2) 予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。なお、12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。
 - (ア) 走高跳・棒高跳の場合
 - (a) 同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者。
上記(a)でも決まらない時は、下記(b)を適用する。
 - (b) 同記録を生じた高さまでのすべての試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者。
上記(b)でも決まらない時は、複数名が決勝に進出できる。
 - (イ) その他フィールド競技の場合
同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。決められない時は3番目の記録で決める。それでも決められない場合は複数名決勝に進出できる。

13 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

男子走高跳	予選	1m90（練習）	1m94	1m99	2m02
	決勝	1m92・2m02（練習）		1m97	2m00 以降3cm
女子走高跳	予選	1m55（練習）	1m60	1m63	1m66
	決勝	1m60・1m65（練習）		1m63	1m66 以降3cm
男子棒高跳	予選	4m50・70（練習）	4m60	4m70	4m80
	決勝	4m60・80（練習）		4m70	4m80 以降5cm
女子棒高跳	予選	3m30・50（練習）	3m40	3m50	3m60
	決勝	3m40・60（練習）		3m50	3m60 以降5cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり第1位が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

男子八種 走高跳	練習	1m45	1m60	1m75	
	競技	1m50	1m55	1m60	1m65
女子七種 走高跳	練習	1m25	1m40	1m55	
	競技	1m30	1m35	1m40	1m45
		1m55	以降3cm		

14 競技場への入退場について

- (1) すべての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) すべての競技者は、競技終了後、競技役員の指示・誘導に従い、ミックスゾーン（第1ゲート付近に設置する）を通り退場する。
- (3) トラック競技の競技者の衣類は、ミックスゾーンに係員が運搬する。ただし、4×100mR出場者の衣類は、第4走者のみミックスゾーンまで運搬する。（他のリレー走者はダッグアウトを利用し荷物を取りに戻った後にミックスゾーンから退場する）

15 表彰及びインタビューについて

- (1) 各種目8位までの入賞者は、競技用ユニフォーム（下半身はジャージ等の着用可）で表彰を受けること。その際、入賞者控所で待機し、競技役員の指示を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、優勝者の関係者はただちにTICに持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。校歌のCDを持参した学校は校歌演奏とともに部旗を掲揚する。
- (2) 各種目の8位までの入賞者は、競技役員の誘導でミックスゾーンを通りインタビューエリアに移動、インタビュー終了後は競技役員の誘導で入賞者控所に移動する。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。
- (4) 総合の部は男・女それぞれ1位～8位まで、トラック・フィールドの部は、男・女それぞれ3位まで表彰する。なお、総合優勝校は部旗を掲揚するので、TICに部旗を持参すること。
- (5) 男子・女子それぞれ最優秀選手を表彰する。
- (6) 男子・女子それぞれ総合優勝校監督を表彰する。

16 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣室は、補助競技場に男女1カ所ずつ用意する。更衣目的にのみ使用できることとし、荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても責任は負わない。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は、記録掲示板（主競技場2階正面付近と補助競技場内）に掲示する。なお、リザルトは、インターネット（三重陸上競技協会ホームページ【速報】）上でも確認できる。大会終了後、各都道府県に記録集（電子データ）を送付する。
- (5) 各都道府県監督及び競技者あての電報や遺失物は、TICで保管する。
- (6) 主競技場内での横断幕およびのぼり旗については、事前に各地区（ブロック）で示された場所に設置すること。横断幕は1校1枚とし、メインスタンドの最上部、両サイドスタンドの中段及び最上部、バックスタンドの中段及び最上部に通路をふさがないように括り付ける。のぼり旗については、1校2本以内とし、上記の各スタンド最上部のフェンスに括り付けること。国旗および優勝校旗掲揚ポールの使用は禁止する。個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (7) 各学校のテントは、許可区域以外に張らないこと。
- (8) 棒高跳のポールとやりの輸送等取り扱いについては、下記のとおりとする。
 - (ア) 基本的には持参すること。持参できない場合は、各校の責任で任意の運送業者を利用して配送すること。その場合、復路も各校で手配すること。
 - (イ) 棒高跳のポールについては、往復の配送を依頼する場合に限り、「日本陸上競技連盟配送専用マネジメントセンター」を経由して西濃運輸で往復便として取り扱うことができる。「2018 彩る感動 東海総体」HP <<<http://www.koukousoutai.com/2018soutai/>>> にアクセスし、配送の流れや運賃・チャーター料金の確認をして手続きを行うこと。

送り先 〒516-0023 三重県伊勢市宇治館町510
三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場 気付
TEL0596-22-0188 FAX0596-22-1586

受付日時 7月31日(火)～8月3日(金) 10:00～16:00

- (ウ) 棒高跳のポールについて、返送のみを希望する場合、送り状をTICで受け取り、手続きを行うこと。支払い方法は着払いを原則とする。

※配送された棒高跳のポールとやりは、三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場倉庫で保管する。

※上記（８）アでの返送については、各自の責任で手続きを行うこと。

上記（８）イ、ウでの返送については、T I Cに専用窓口を設ける。

※棒高跳のポールの配送に関する問い合わせ

- ・（８）イの問合せ先 日本陸上競技連盟 配送専用マネジメントセンター
TEL0584-83-3754 FAX0584-78-5219
- ・（８）ウの問合せ先 佐川急便 伊勢営業所
TEL0596-20-8599
- ・上記以外の問合せ先 伊勢市実行委員会事務局 陸上競技担当
TEL0596-63-9780 FAX0596-28-9020
E-mail go-to-ise2018@city.ise.mie.jp

（９） 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。

（ア） 競技の妨げとなる応援は禁止する。

（イ） メインスタンド及びコーチングエリア内での集団応援は禁止する。

（10） 個人情報の取り扱いに関して

（ア） 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。

（イ） 参加申込書(様式2)の提出により、上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・都道府県名・記録の紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
また、入賞者に対しては、インタビューエリアでのインタビューがあり、その他競技場外で取材を受けることがある。

（ウ） 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。

（エ） 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。

（11） 競技者及び監督には、競技会申し合わせにより I Dカードが渡される。I D規制の指示に従うこと。

競技者は、競技出場時のみ本競技場内に入ることができる。I Dカード使用者は、各場内を移動する場合は、必ずI Dカードが確認できるように携帯すること。

（12） メインスタンドの座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。